国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

RECRUITING

一般職（行政／事務）採用担当窓口

TOKYO

East Japan Civil Aviation Bureau

http://www.cab.mlit.go.jp/tcab/

東京航空局 人事課 人事第一係

〒102-0074　千代田区九段南1-1-15
九段第２合同庁舎 13階

TEL／03-5275-9308（直通）

［アクセス］　東京メトロ東西線・半蔵門線、
都営地下鉄新宿線
「九段下駅」⑥番出口から徒歩５分

OSAKA

West Japan Civil Aviation Bureau

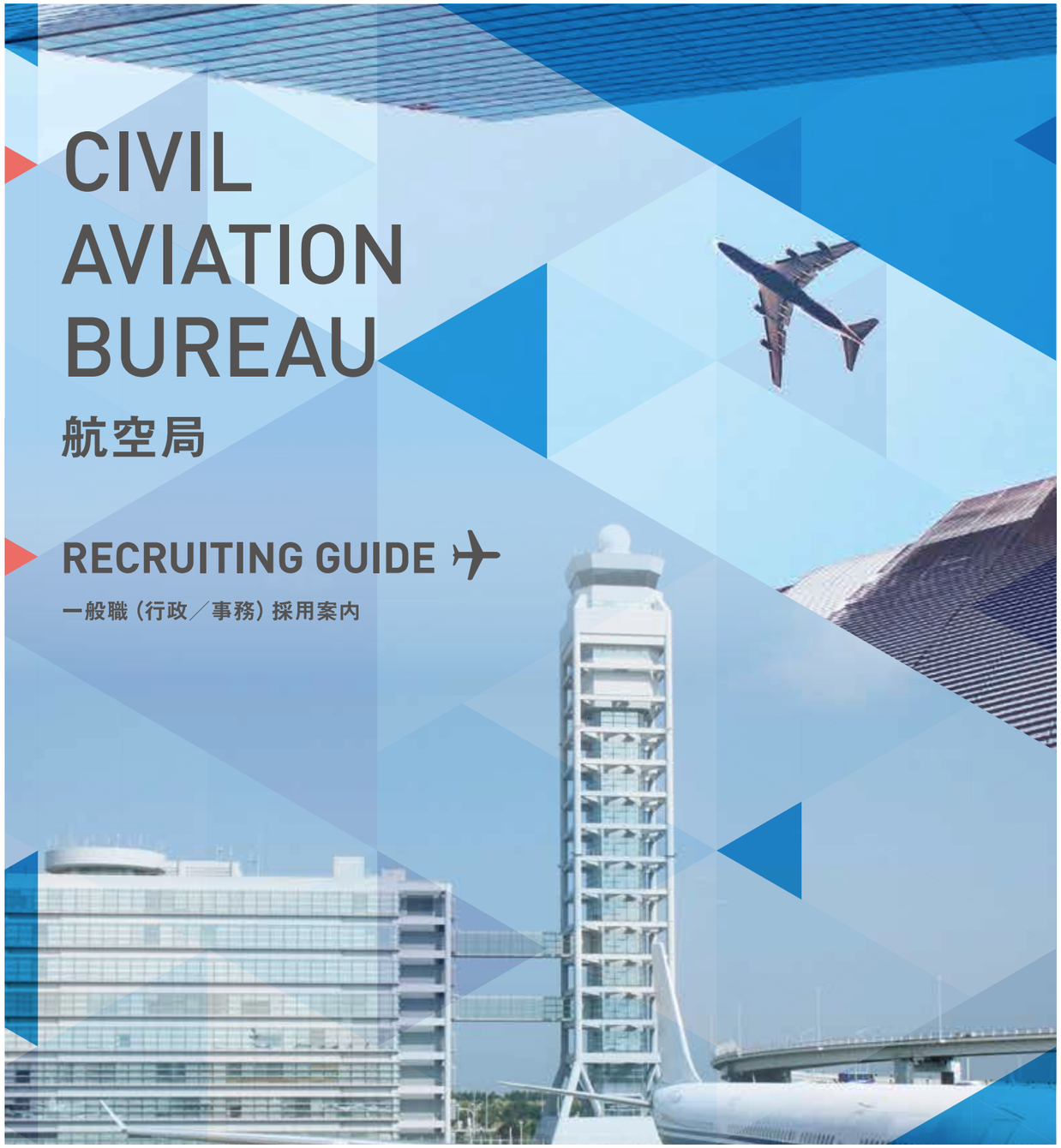
http://ocab.mlit.go.jp/top/

大阪航空局 人事課 人事第一係

〒540-8559　大阪市中央区大手前4-1-76
大阪合同庁舎第４号館 14階

TEL／06-6949-6204（直通）

［アクセス］　大阪メトロ谷町線・中央線
「谷町四丁目駅」⑤番出口すぐ



CIVIL AVIATION BUREAU

航空局

RECRUITING GUIDE

一般職（行政／事務）採用案内

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Ministry of Land,
Infrastructure,
Transport and Tourism

Civil Aviation Bureau

INDEX

02 航空局が推進していく事業
03 航空局の組織・業務
05 キャリアパス
06 勤務地
07 入省後の職場
13 若手職員座談会
15 ワークライフバランス
17 よくある質問

MISSION

航空局の役割・使命

航空輸送は、身近な高速交通手段の一つとして定着し、その意義は人・文化・情報の交流と物流を支え、国内はもとより、広く海外まで広域的にカバーした信頼性とスピードを持った、グローバルな交通機関として飛躍的な発展を遂げています。

また、航空機が翼を休める空港は、地域の産業発展、地域の文化、情報交流の基盤であり、災害時などの輸送拠点としての役割も担っています。これらの役割は、充実した航空ネットワークや安全運航、定時制が確保されて機能するものです。一方、空港周辺では、「地域との調和・融合を図り共に在りたい」をテーマとした整備も重要なものとなっています。

このような状況と未来を見据え、日本における航空機の安全運航に必要な施設の整備と定時制の確保に必要な施設の整備を行い、空港においては、輸送基盤としてのアクセスやアメニティの向上など都市機能と直結した施設の整備を図り、利用者に優しく魅力ある空港づくりを目指しています。

私たちは、「日本の空」の安全・安心の確保と、航空輸送の発展をこれからも支え続けます。

PROMOTION PROJECT

計画推進

航空会社・空港会社への支援と安全・安心な航空輸送の実現

旅客需要が大幅に減少している中、航空ネットワークを維持するとともに、需要回復後のインバウンド受入目標達成に向けた投資等に対する支援の観点から、航空会社の支払う空港使用料や航空機燃料税について大幅な減免を実施します。

また、同様に厳しい環境に置かれている空港会社に対しても、資金繰りや空港の機能強化について、無利子貸付（新設）、財政投融資等の活用により支援を行います。

さらに、航空分野における新型コロナウイルス感染症対応を徹底するため、空港等における感染症防止策の推進等を図るとともに、テロ等の不測の事態にも対応するための航空保安対策の更なる強化に取り組みます。

航空需要の回復・増大への的確な対応による活力ある日本経済の実現

観光先進国の実現や地域活性化に不可欠な交通ネットワークの整備のため、財政投融資も最大限活用し、拠点空港の機能強化に必要な事業を計画的に推進します。

また、空港における防災・減災、国土強靱化対策の推進等に必要な事業を計画的に実施します。

さらに、操縦士をはじめとする人材の確保・育成等についても引き続き取り組みます。

航空イノベーションの推進

ＩｏＴやＡＩの活用等により、世界最高水準の旅客サービスの実現、航空機の効率的な運航等を図る航空イノベーションを推進するため、感染症リスクを回避したストレスフリーで快適な旅行環境の実現のための取組「FAST TRAVEL」を推進します。

また、無人航空機を安全に利活用するための登録制度の構築、有人地帯での目視外飛行（レベル４）の実現に向けた環境整備等に取り組みます。

さらに、管制空域の抜本的再編等による管制処理能力の拡大や地上支援業務の省力化・自動化を図る取組等を推進します。

ORGANIZATIONAL STRUCTURE&WORK

航空局の組織・業務

航空局［本省］

総務課

●政策企画調査室
●職員管理室
●予算・管財室

92名

- 航空局の所掌事務に関する総合的な政策の企画及び立案並びに航空局の所掌事務に関する政策の調整
- 航空局の所掌に属する国際関係事務の総括
- 国際民間航空機関との連絡
- 外国の航空政策及び航空事情に関する調査
- 航空機の登録及び航空機抵当
- 航空局の所掌に係る経費及び収入の予算、決算及び会計並びに会計の監査
- 自動車安全特別会計の空港整備勘定の経理

航空ネットワーク部

航空ネットワーク企画課

●空港経営改革推進室

16名

- 航空ネットワーク部の所掌事務に関する総合調整
- 航空ネットワークの形成及び充実に関する基本的な政策の企画及び立案
- 航空運送の発達、改善及び調整
- 空港等の運営の改善

国際航空課

6名

- 国際航空運送の発達、改善及び調整
- 外国人国際航空運送事業の発達、改善及び調整
- 外国航空機の航行及び使用に関する許可
- 航空に関する国際協定

航空事業課

●地方航空活性化推進室

13名

- 航空に関する事業の発達、改善及び調整
- 地域的な航空運送に係る事業の助成

空港業務課

●騒音防止技術室　9名

- 空港等の設置及び管理に関する事務のうち、空港等を活用した地域の振興
- 空港等の周辺における航空機の航行により生ずる騒音等による障害
- 空港等の設置及び管理

首都圏空港課

●成田国際空港企画室
●東京国際空港企画室　12名

- 首都圏内の空港等の設置及び管理
- 成田国際空港株式会社が行う石油パイプライン事業に関する許可及び認可
- 成田国際空港の安全確保に関する緊急措置法の施行

安全部

安全企画課

●航空保安対策室

15名

- 安全部の所掌事務に関する総合調整
- 航空の安全の確保に関する基本的な事項に係る企画及び立案
- 空港等の安全の確保
- 航空に関する危機管理に関する事務のうち、航空機の強取、破壊その他の航空に関する犯罪の防止のための対策に係るもの
- 航空局の所掌に係る航空の安全に関する事務の運営に関する実況の監察及びこれに基づく改善事項の調査

運航安全課

●乗員政策室
●航空事業安全監査室　18名

- 航空機の航行の安全の確保
- 航空従事者の教育及び養成並びに航空従事者に関する証明

※事務職の配置される主な課（室）を記載。人数は令和3年1月1日現在

地方航空局［東京・大阪］

総務部

総務課

17名

- 庁舎管理、ネットワーク管理、秘書業務、所内の総合調整
- 文書管理、マスコミ対応　■ 他課に属さない多岐にわたる業務

航空振興課

8名

- 航空運送事業や航空機使用事業に関する事業認可
- 航空事業者の運航計画・事業計画等の変更認可、定期検査の実施
- 航空運送事業者の監督、旅客輸送実績の集計・分析・公表
- 地域公共交通の確保・維持、離島航空路線の助成

人事課

30名

- 職員の採用・退職、人事異動、人事評価、定員管理、栄典
- 職員の給与計算、勤務条件、研修計画策定・実施
- 職員の宿舎、健康診断、共済組合等の福利厚生

経理課

28名

- 予算管理、経費の支払、決算、監査

契約課

19名

- 工事等の発注に係る契約事務
- 契約の技術的な事項に係る審査及び工事の検査

管財調達課

24名

- 国有財産の管理、処分、使用許可、営繕事の検査
- 物品・機器・車両等の調達、管理、修繕、処分

安全企画・保安対策課

11名

- 航空機のハイジャック・テロ、航空機事故等への危機管理対策
- 空港内の保安体制の維持、空港警備等の保安対策
- 空港における地震・津波等の自然災害への防災対策

空港部

管理課

22名

- 公共用飛行場・ヘリポート等の設置許可、完成検査の実施
- 航空機の運航に影響を及ぼす空港周辺の障害物件の監視・調査
- 空港ターミナルビル内の構内営業の許可、構内営業者に対する指導
- 空港内用地・建物の使用許可及び使用料の算定・通知

空港経営改革調整課

9名

- 空港運営委託（コンセッション）に係る事業実施方針、募集要項の公表等、事業継承に関する事務調整、委託後のモニタリング

補償課

大阪航空局のみ　16名

- 空港周辺住民等への防音工事助成、民家移転補償、跡地整備
- 土地の買収、使用及び空港周辺の障害物件の補償

環境・地域振興課

18名

- 航空機騒音の監視、騒音値の集計、空港周辺住民への対応
- 空港を利用した利用促進活動の支援
- 空港利用者の利便性向上、空港ターミナル施設のバリアフリー化助成

保安部

運用課

10名

- 航空従事者技能証明・航空英語能力証明・計器飛行証明・操縦教育証明及び運航管理者技能検定に関すること
- 無人航空機の飛行に関する許可及び承認、安全審査に関する事務
- 無人航空機の運航の安全、運航に関する監督に関する事務

航空交通管制部

総務課 31名　会計課 14名

航空保安大学校

総務課 9名　会計課 2名　教務課 7名

空港事務所

総務課・会計課

190名

- 庁舎管理、ネットワーク管理、秘書業務、所内の総合調整
- 文書管理、マスコミ対応、他課に属さない多岐にわたる業務
- 職員の給与計算、勤務条件、研修計画策定・実施
- 職員の宿舎、健康診断、共済組合等の福利厚生
- 航空機の運航に影響を及ぼす空港周辺の障害物件の監視・調査
- 空港ターミナルビル内の構内営業事務、構内営業者に対する指導（東京空港事務所、会社管理空港以外）
- 空港を利用した利用促進活動の支援（会社管理空港以外）
- 予算管理、経費の支払、決算、監査
- 工事等の発注に係る契約事務
- 国有財産の管理、処分、使用許可、営繕
- 物品・機器・車両等の調達、管理、修繕、処分
- 空港内用地・建物の使用許可及び使用料の算定・通知

環境・地域振興課

函館・東京・松山・福岡
17名

- 民家移転補償、跡地整備等に係る事務
- 航空機騒音の監視、騒音値の集計、空港周辺住民への対応

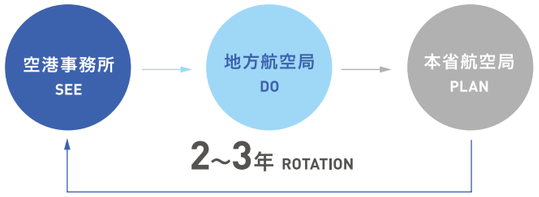
空港出張所

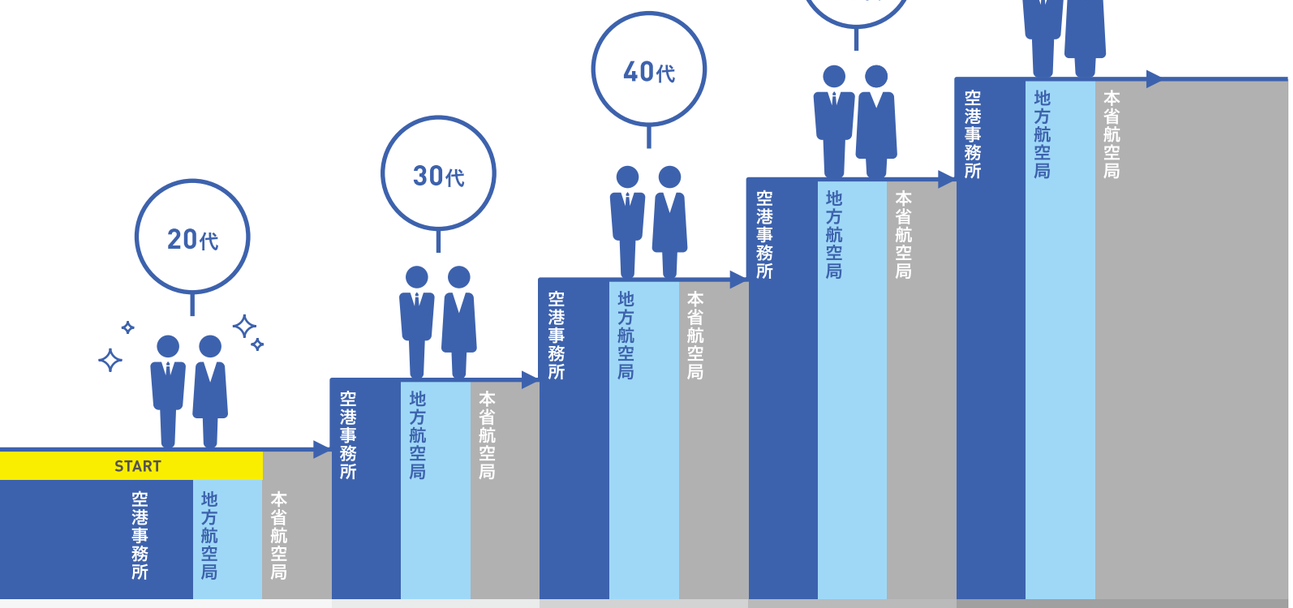
空港・航空路監視レーダー事務所

CAREER PATH

キャリアパス

空港事務所や地方航空局で採用され、概ね2～3年ごとに異動し、様々なポストを経験していきます。
各役職層で空港事務所 → 地方航空局 → 本省航空局といった人事ローテーションを基本としていることから、“Ｐｌａｎ → Ｄｏ → Ｓｅｅ”といった企画・立案側と実施・運用側の双方の業務を行えることも大きな魅力です。また、キャリアの途中で関連する空港会社や独立行政法人へ出向し経験を積むこともあります。意欲と能力次第で、地方航空局部長、空港事務所長等の幹部ポストへの道が開かれています。





係員

—

航空局で仕事をする上で必要となる基本的な知識を習得するとともに、行政職の様々な分野における定型的な業務を行いながら適性を発見していきます。

主査／係長

—

適性のある分野を開発し、その能力を伸ばす時期。仕事の方向性を提案しながら物事を推進すると同時に、マネジメント能力も身につけていきます。

専門官・課長補佐
（地方航空局・空港事務所）
専門官
（本省航空局）

—

他職種や他の組織との連携も視野に入れ、組織全体の視点で業務を遂行します。自身のキャリアの方向性を確定させる時期でもあります。

課長
（地方航空局・空港事務所）
課長補佐
（本省航空局）

—

空港事務所あるいは地方航空局の管理職として適材適所で配置され、培ったマネジメント能力を発揮し、進むべき方向に課を前進させます。

部長・空港長
（地方航空局・空港事務所）
室長
（本省航空局）

—

地方航空局、大規模空港事務所の部長級あるいは中、小規模空港事務所等のトップとなり、航空局人生で培った能力を組織運営という形で発揮します。

標　準　キ　ャ　リ　ア　モ　デ　ル

WORK LOCATION

勤務地

行政職は各地の空港事務所や東京・大阪の地方航空局、東京の本省航空局等で勤務しています。空港という非日常的な空間で航空機の離発着を感じながらの業務は魅力的です。また、様々な地域での生活は、各地の文化や人々との出会いを通じて新たな発見をもたらしてくれるとともに、交友関係の幅も広がります。なお、定期的に勤務地に関する希望を提出する機会を設けており、希望については可能な限り配慮しています。

[下記以外の主な勤務地]

- 本省航空局（東京都）
- 東京航空局（東京都）
- 大阪航空局（大阪市）
- 航空交通管制部（札幌、東京、神戸、福岡）
- 航空保安大学校（泉佐野市、岩沼市）

那覇空港

令和2年3月26日に二本目の滑走路が供用開始され、アジアの各都市とのハブとして、さらなる発展に寄与することが期待されています。

福岡空港

現在、滑走路処理能力の向上を図るため、滑走路増設事業を実施しており、平成31年4月より運営権売却による民間会社による空港運営が始まるなど、発展が目覚ましい空港の一つです。

東京国際空港

言わずと知れた日本最大の空港で、空港機能の拡充や老朽化対策に資する取組を進めています。

新千歳空港

令和2年6月の新千歳を皮切りに順次、道内7空港が民間会社による空港運営が始まり、これにより北海道全体観光振興・地域の活性化が見込まれています。

VOICE of the employees

現場の声

01

航空局 航空ネットワーク部
航空事務課　調査係長（当時）

蓮井 鉄平

HASUI TEPPEI

当時の仕事

航空事業課には、ANAやJALをはじめとする日本の航空会社のダイヤや運賃を審査する業務と、航空会社に対する税制やバリアフリー、地域航空の航空運送に係る事業の助成といった航空業界の発展、改善を推進する業務があります。私の担当業務は後者であり、日本と外国の航空会社が提携を深めるための協定の認可や移動支援措置（バリアフリー）の審査を行っています。その他には、様々な課題を解決するための検討会等が立ち上がった時の事務局対応や国会対応等の調整業務に携わっています。特に、日本と外国の航空会社が提携を深めるための協定の認可に関する業務について詳しくご説明します。海外旅行で飛行機を利用された方であれば、航空券や出発時刻が表示される電光掲示板を見たことがあるのではないでしょうか。例えば、「JL1234/AA4321」という便名は、これはJL、つまりJALの旅客とともにAAというアメリカン航空の旅客も乗ることを指しています。このように2社以上の航空会社によって飛行機を共同運航する便をコードシェアといいますが、更に提携を進め、両社がダイヤの調整や運賃設定等を行う場合は、航空会社間の自由な競争を制限することになるため、航空法に基づいて提携深化協定の認可に係る審査を行うことになります。航空会社から提出される申請書や両国間の輸送実績によりシェア等の数字は把握できますが、その数字の裏側にある旅客の動向や現況は航空会社から話を聞かなければ分からないことが多く、また、非常に興味を引く内容であるため、仕事を忘れて聞き入ったことが何度かあります。

今までで印象に残っている業務

訪日外国人旅行客が増大する一方で、離島等の地域を運航する航空会社を取り巻く環境は厳しくなっています。そのような状況に対応していくために立ち上げられた「持続可能な地域航空のあり方に関する研究会」に事務局として携わりました。その議論の中で、地域航空会社である天草エアラインが運航する天草＝熊本路線にANAがコードシェアする場合等の効果について、事務局が試算することになりました。関係する航空会社からコードシェアの費用と収益について聞き取りを行ったところ、各社のコードシェア種別によりどのように金銭の収受が行われるかについて初めて知りました。改めて航空会社間の関係性をより深く理解する機会になり、とても印象に残っています。

航空局の魅力

当時、羽田空港の発着枠に関する委員会に携わっていました。これまでの5年間の発着枠の使用状況をどのように考えるのか、また現況の発着枠の妥当性等について分析や検証を行いますが、航空行政の中ではもともと発着枠に興味があったため、この仕事に携わることができ、非常に嬉しく思っています。このように、これからの国内の航空ネットワークを考える一端を担えることが航空局の魅力だと思います。

受験者へのメッセージ

国が推進する訪日外国人旅行客4000万人、6000万人に最も寄与する交通手段は航空であり、今後も重要な存在であることは間違いないものと考えています。また、狭い日本と言えど、島国である日本において航空が重要であることはご承知の通りです。その重要な使命を事務職として担いつつ、今後の航空を考えてみませんか。

PROFILE

平成12年4月　採用
平成19年6月　中部空港事務所 総務部 会計課 管財調達係長
平成22年1月　（独）空港周辺整備機構 大阪国際空港事業本部 用地補償課 管理係長
平成23年4月　観光庁 観光地域振興部 観光資源課 通訳案内係長
平成25年4月　航空局 総務課 予算・管財室 予算第二係長
平成27年4月　航空局 総務課 予算・管財室 予算第一係長
平成28年4月　航空局 航空ネットワーク部 航空事業課 調査係長
令和元年7月　新関西国際空港（株）総務部 経理グループ　メンバー

02

航空局 総務課 予算・管財室
予算第一係（当時）

富塚 悠菜

TOMIZUKA HARUNA

当時の仕事

予算・管財室は航空局全体の予算・決算に関わる業務を行っています。その中で予算係は主に、航空局の事業などに必要な次年度の予算をとりまとめ、財務省に要求をします。我が国の財政状況は年々厳しくなる一方、航空需要はますます増大しているため、財務省に対して予算の必要性を説明し年末にかけて協議を重ねます。年末に予算案が閣議決定され、国会での審議を経て次年度の予算が成立します。
国の予算編成に関わるということは一見（？）スケールの大きい仕事をしているようで、実際は担当者と何度も交わされるやりとりや、数字を緻密に積み上げていく作業の積み重ねによって成り立っているということを実感します。

航空局を志望した理由

私が就職活動をしていた時は、LCC（格安航空会社）が日本でも急成長をし始めた頃で、漠然と航空業界には関心を持っていましたが、空港はたまに行く特別な場所というイメージを持っていたこともあり、官庁訪問をするまで航空局がどんな仕事をしているかよく知りませんでした。新しいことに触れる機会が多い職場で働きたいと考えていたため、特に、本省航空局・地方航空局・空港事務所など勤務地が様々あり、多様な業務に関わることができるところに惹かれ、航空局を志望しました。また、空港事務所では航空機が離着陸をする間近で働くことができるということもとても魅力的でした。

航空局の魅力

採用されて7年が経ちましたが、私はこれまで、国有財産（空港用地などの国有地や空港事務所の建物など）の取得や管理に関する業務、職員の給与計算業務、空港などで行われる工事の契約手続きを行う業務を経験しました。幅広い業務を担当することで様々な面から航空行政に関わっている！という実感を得られますし、未経験の業務に取り組むときでも、経験豊富な上司や先輩が優しく指導してくれるので安心して働くことができました。航空局には他の職種（航空管制官や技術系職種など）の職員も多く在籍しているため、専門用語が出てきて分からないことがあっても親切に教えてもらえ、空港や航空機に詳しくなくても勉強をしながら業務を進めることができます。人間関係もとても広がりました。

受験者へのメッセージ

航空行政を取り巻く環境は日々変化し続けているため、航空局は新しいことに挑戦したい人にぴったりの職場です。そして、勤務地や担当業務も多くあるため、仕事をしていて毎日新鮮な気持ちでい続けることができます。
就職活動中は自分に向いている仕事が分からず不安を感じることもあると思いますが、実際に働く方々のお話を聞くことで、進路も明確になり「ここで働きたい」と思える職場に出会えるはずです。皆さんとともに働ける日を心待ちにしております。

PROFILE

平成25年10月　採用（東京航空局 総務部 経理課）
平成28年1月　東京空港事務所 総務部 総務課
平成28年10月　航空局 総務課 予算・管財室
令和2年4月　大阪空港事務所 総務部 総務課 主査（庶務担当）

VOICE of the employees

現場の声

大阪航空局 福岡空港事務所
総務部 総務課長

岡本 慎太郎

OKAMOTO SHINTARO

03

現在の仕事

私の仕事のご紹介の前に、まずは、福岡空港事務所の業務をご紹介します。
福岡空港は昭和４７年に当時の運輸省が所管する第２種空港として供用開始されました。滑走路（２８００m×６０m）は１本、発着回数は年間１７．３万回（平成３０年度実績値）、国内定期航空路線は１２社２７路線で３８２便（１日当たりの発着回数　令和２年１月ダイヤ）、国際定期航空路線は２９社２３路線８０６便（１週間当たりの発着回数　令和２年１月ダイヤ）であり、国内有数の利用者と発着回数を誇る主要な空港です。
福岡空港は昭和４７年に供用が開始され、これ以降、国により運営されてきましたが、平成３１年には、福岡国際空港（株）により、空港運営事業が実施されることとなりました。これにより、空港の管理業務（滑走路等の維持管理、空港への不法侵入防止対策など）は、同会社により行われることとなり、当空港事務所では、管制業務、運航援助情報業務、システムの運用・保守業務等を約２３０名の職員により実施しております。
このうち、当空港事務所の総務課は、管制業務などの現場での業務が適切かつ確実に実施できる環境を提供するため、行政機関としての組織の運営、庁舎環境の整備、制度運用を通じた人事管理や職員の福利厚生の業務を担当しています。

今までで印象に残っている業務

これまで、総務や経理業務のほか、地方空港整備に係る補助金担当、空港の財務諸表作成担当、国有財産の貸付・売却の担当など様々な業務を行ってきました。変わったところでは、総務課の担当として北海道洞爺湖サミットのロジ担当も経験しました。
このうち、特に印象に残っている業務は、国有財産の貸付や売却業務です。国有財産というとなんだかイメージがわかない方もいらっしゃると思いますが、福岡空港を構成する基本的な施設（滑走路、誘導路、エプロン、空港敷地の大半）、筑後川、国道3号線などは国有財産ですし、意外と皆さんの身近な存在です。
国有財産は国民共有の財産であり、とりわけ、地域や社会のニーズに貢献することが求められます。空港においては、空港ターミナルや格納庫など航空関係企業の敷地として、最近ではホテル・複合施設（羽田エアポートガーデン）の敷地としても利活用されています。また、行政で利用しなくなった国有財産は、財政への貢献を果たすために売却や貸付を行う必要があります。特に、広大な土地や希少性の高い土地は、地域経済の活性化など地域のニーズに対応するため、地方公共団体等との協議を整えつつ、手続きを進めていく必要があります。
当時、羽田空港として利用しなくなった空港跡地を大田区に売却した案件を担当しましたが、土地の瑕疵対応など困難な場面もあり、苦労も多かったです。現在は、大田区により産業交流施設（HANEDA INNOVATION CITY）として利活用されており、東京出張の際にその姿を見たときには、なつかしい想いとともに充実感を感じることができました。
このように、航空局が所有する国有財産は、自ら管理・処分を行います。国有財産担当者は、各種法令や制度への理解や関係者との調整など大変な一面もありますが、自らの知見を活用できる場面も多く、非常にやりがいがある仕事だと感じています。

航空局の魅力

基本的なキャリアパスとして、空港事務所などの現場と本省航空局・地方航空局のマネジメント部局を行き来することになり、それぞれの視点から仕事観を養うことができます。自身の経験から、本省航空局では、省内外を問わず数多くの者と働く機会に恵まれ、仕事への取組み方や姿勢など多くのことを学ぶことができました。他方、空港事務所では、管制官などの他職種の業務内容や課題を学ぶことができました。学び続けることで自身が成長できる環境こそが、航空局の魅力と感じています。

受験者へのメッセージ

～　雨ニモマケズ～
新型コロナウイルスの感染拡大により、航空需要は世界規模で減少し、航空産業は、かつてない苦境に立たされています。しかし、過去を振り返ると、これまでも、アメリカ同時多発テロ、リーマンショックなどの影響から航空需要が一時的に減少することもありましたが、公共交通として国民の社会経済活動を支え続け、最近では、訪日旅行者は２０１９年3100万人の政府目標を達成するなど、その成長がとどまることはありません。
私たち、航空局職員は、ポストコロナを見据えて航空産業を支えるとともに、空の安全を確保し、利用者の利便を向上させることを使命として、これからも成長を続けていきます。熱い想いをもった皆さんと働けることを心待ちにしています。

PROFILE

平成3年4月　採用
平成22年10月　航空局　監理部　総務課　管財補給管理室　管財企画係長
平成26年1月　福岡航空交通管制部　総務課長補佐
平成28年4月　東京航空局　総務部　管財調達課　専門官
平成29年3月　航空局　総務課　管財補給管理室　専門官
令和元年8月　現職

04

大阪航空局　福岡空港事務所
総務部 会計課 主査（調達担当）

庄野 彩霞

SHONO SAIKA

現在の仕事

会計課では、土地や建物などの財産、福岡空港事務所が所掌する物品、予算について管理を行っています。また、工事や作業、物品購入などの契約に関する業務も行っています。この中で現在私が携わっている仕事は、物品購入の契約業務と物品管理業務です。
物品購入の契約業務では、福岡空港事務所内の各課と集約している空港出張所から要求される多種多様な物品をとりまとめて契約し、購入した物が契約書で定めた場所、数量、規格などのとおりに納品されているか確認します。
物品管理業務では、上記のように購入した物品を含め、工事で使う装置や機器類、他官署から引き渡す、或いは引き渡される物品などについて、その増減を記録し管理しています。

今までで印象に残っている業務

「空の日」に、各空港で行うイベントに空港事務所として参加したことが印象に残っています。
祝日になっている海の日や山の日のように、９月２０日は空の日として各空港でイベントが催され、空港事務所も飛行場内のバスツアーなどを企画し参加しています。
イベント開催前には、航空会社など空港の運営に関わる会社の担当者、空港事務所内各課の担当者と打ち合わせをしたり、必要な物や書類の準備をしたりする中で、お互いの仕事について話すこともあり、自分が空港の運営に関わっていることを改めて実感しました。また、当日はイベント参加者の方々から「楽しかった」「また来年も来るね」と言ってもらえたことで、とてもやりがいを感じました。

航空局の魅力

航空局では、事務職だけで無く管制や機械、土木といった様々な技術職種と共に仕事をするので、航空行政について多角的な視点から考えることができ、わからないことがあっても上司や同じ事務職の先輩はもちろん、別職種の先輩にも聞けて教えてもらえる職場環境は魅力の1つだと思います。
また、勤務地が北は北海道から南は沖縄まで、日本各地にあるため、仕事とプライベートの両方において友達が全国各地に出来るうえに、赴任先では旅行ガイドには載っていない地元グルメを楽しめます。

受験者へのメッセージ

実は、官公庁の業務説明会に行くまで航空局の存在を知りませんでした。それでも、説明会で業務内容を聞き、実際に働いている職員と直接話すことで興味が湧き、最終的に航空局に決めました。
就職活動中は就職先としてどこを選ぶか悩む方もいらっしゃると思います。様々な業界や職種の人々と出会い、その中で航空局を選んでいただけると嬉しいです。皆さんと一緒に働けることを楽しみにお待ちしています。

PROFILE

平成25年10月　採用（大阪空港事務所　総務部　総務課）
平成26年10月　大阪航空局　総務部　人事課
平成27年10月　那覇空港事務所　総務部　総務課
平成30年1月　大阪航空局　総務部　契約課
令和元年8月　現職

VOICE of the employees

現場の声

05

東京航空局 総務部 総務課
専門官

内田 和恵

UCHIDA KAZUE

現在の仕事

私の現在の主な業務は東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、羽田空港でアスリートを含めた大会関係者の受け入れ体制を整えるためのオリンピック・パラリンピック組織委員会と空港関係者との調整業務です。
羽田空港ではエアラインをはじめ出入国在留管理局、税関、ターミナルビル管理会社など民間、官公庁を問わず多くの関係者がおり、その業務は複雑に連携しているため、大会関係者の受け入れについてその方たちとオリンピック・パラリンピック組織委員会がバラバラに調整することは非常に効率が悪くなります。そのため、空港管理者である航空局が事務局となりその窓口として空港関係者をとりまとめオリンピック・パラリンピック組織委員会と調整を行っています。
島国である日本にとって空港は外国から日本を訪問する際の重要な玄関であり、オリンピック・パラリンピック関係者が最初と最後に日本に接する場所です。みなさんも海外旅行に限らず、航空機に乗った際は降り立つ空港で、訪れたその場所の雰囲気をまず感じようとするでしょう。何事も最初が肝心といいますが、空港に降り立った際の印象がその旅全体に及ぼす影響は決して小さくはありません。
オリンピック・パラリンピック関係者だけでなく、すべての空港利用者にとって再び日本を訪れたいと思っていただけるよう、羽田空港関係者とともに万全な準備をして「おもてなし」の心でオリンピック・パラリンピック関係者を羽田空港で出迎え、また見送りたいと思っております。

今までで印象に残っている業務

小学生向けの空港紹介パンフレット作成に関わったことがあります。地元の子どもたちに空港を身近に感じてもらい、空港を通過点（航空機に乗るための場所）としてではなく目的地として訪れてもらおうという企画でした。空港事務所で管制官、運航情報官など職種を問わず若手職員をメインにプロジェクトチームを立ち上げ、エアライン等へも協力を依頼しました。空港内の様々な業務や施設を子どもにもわかりやすい言葉で表現することや、文章をしっかりと読まなくても写真だけである程度わかるようにするための工夫など多くの苦労がありましたが、できあがったパンフレットを手に地元の小学校を回り、子どもにパンフレットを手渡すと興味深そうに読んでもらえ、さらに空港に遊びに行きたいと言ってもらえた時は、頑張って作った甲斐があったとうれしくなりました。
空港を通過点ではなく目的地にするということは航空行政とは一見異なることに思えますが、その地域に空港がありかつ空港自体が賑わっているということで地域振興になりますし、地域が元気になることでその魅力が増し、他の地域からの来訪者が増えれば、航空機の利用者も増えるという相乗効果も生まれます。このように、自分たちの仕事を多角的に見るための視野が広がったという点でも、印象に残っています。

航空局の魅力

一言でいうと、業務を含め振り幅の広さが魅力だと思います。
第一に、航空局は全国に勤務地があり、希望すれば北海道から沖縄まで多くの場所で働くことができます。次にいわゆる内部管理部門以外にも空港管理や航空振興などといった多くの業務があります。採用されてすぐは内部管理業務に就くことが多いと思いますが、その後はそれぞれの適性を見て様々な分野の業務に就くことが可能です。
さらに、航空局の組織では、事務職だけでなく多くの職種の人たちが働いていますので他職種と連携し、一つのミッションに取り組むなど広い視野で物事を見ることができるようになります。

受験者へのメッセージ

私は、採用されそろそろ25年になりますが、これまで内部管理業務に止まらず多種多様な業務を行ってきました。航空局ほど多岐にわたる業務に携われる事務職は他の官庁にはないと思います。また、職場内の風通しもよいので自分の意見もとても言いやすく、耳を傾けてくれる先輩方もたくさんいます。
いろいろなことに挑戦したいと思っている人にはぴったりの職場だと思いますので、私たちとともにぜひ航空局で働いてみませんか。

PROFILE

平成8年9月　採用
平成25年10月　航空局　総務課　予算・管財室　会計係長
平成27年1月　航空局　安全部　運航安全課　技能審査係長
平成28年1月　福岡航空交通管制部　総務課　専門官
平成30年10月　東京空港事務所　総務部　総務課　専門官
令和2年7月　現職

06

東京空港事務所 総務部 環境・地域振興課
主査（周辺環境担当）

東　真也

HIGASHI SHINYA

現在の仕事

航空機が空港に離着陸するために、滑走路の使い方や飛行経路に関して安全のために定められたルールがあることをご存じですか。航空機が安全に離着陸するためには、風向きに向かって飛行する必要がありますので、滑走路の使い方は風向きによって決まり、飛行経路は出発・到着する方向や風向き、気象条件等により決定されます。
羽田空港における運用方法は、風向き等に応じて合計10種類程あり、羽田空港の需要を処理するために目的地空港の方面別に関東圏全域に飛行経路が設定されておりますが、経路の下には人々が暮らす生活環境があり、騒音に対する環境対策や空港と周辺地域との共生が非常に重要であります。更には2020年3月29日より空港の機能強化策として都心経路を飛行する新飛行経路が運用開始されたことで、その関心はより一層高まっております。
環境・地域振興課では、空港周辺の環境改善のために地方公共団体等との連絡調整や、航空機騒音対策、空港等を活用した地域振興業務を担っていますが、私は、地方公共団体や一般住民の方々より寄せられる羽田空港の運用等に関するご質問やご意見への対応業務や運航状況の調査、報告等の業務を行っています。環境対策の取り組み状況等においても、ご理解いただけるように丁寧な説明と情報提供に努めております。

今までで印象に残っている業務

係員から事務所主査に昇任して初めて勤務した那覇空港事務所での業務経験が印象に残っています。当時、那覇空港は増加する航空需要に対応するため、2本目の滑走路の建設、管制塔庁舎等の移転、空港ターミナルビル拡張工事等、第二滑走路供用開始に向けて航空局や関係機関一丸となって準備を進めておりました。
私は、ターミナルビル拡張工事に係る施設設置の調整等、空港事業者と対外的な対応を行う空港管理担当や管制塔庁舎等の移転に伴う職員の業務体制を整備するため、LAN・電話設備の整備、庁舎間の引越しの調整といった庁舎移転等を行う庶務担当の2つのポストを経験することができました。特に庶務担当で経験した庁舎移転業務では、事務所職員の内、200名程が引越しする大規模な移転になりましたので、予算の確保、契約作業、スケジュール調整、配置場所や動線確認等、入念に準備を進めたつもりでしたが、途中でレイアウト図通りに配置できない什器や移動に調整が必要な機器が判明する等、思わぬトラブルもあり対応に苦慮したこともありました。
その都度、上司や部下、関係部署等と移転を成功させるために一丸となって協力し、調整を進めた結果、無事に移転することができました。終わった後の打ち上げでのビールの味が格別だったことは今でも思い出します。
また、議員の視察やマスコミ、供用開始式典の対応等、空港現場ならではの最前線の業務に関わり、地方事務所の一職員として微力ながら大規模な国家プロジェクトに携われたことは、貴重な財産になっております。

航空局の魅力

航空局は全国の各空港を中心に全国各地に勤務地があり、働く職場環境や業務内容のバリエーションが多いため、全国を異動しながら様々な業務を経験することができます。
地方航空局、本省航空局では、航空分野における成長戦略の実現のため、様々な企画を立案しており、その出先機関である各空港事務所では、上記の印象に残っている業務にて前述させていただいたように現場の実行部隊として最前線の業務を経験できるので、この非常に多様な経験や知識を身に着けることで視野が広がり自分自身への成長に繋がると思います。
また、長期の旅行感覚で仕事ができるといった点で旅行好きの方にとっては、航空局はもってこいの職場です。私自身、これまで北は宮城県から南は沖縄県まで数々の勤務地に異動しましたが、赴任当初は観光雑誌を片手にその土地の観光地巡りを楽しみましたし、実際に地域の方たちと触れ合い、生活していくうちに住んでみないとわからない文化や発見等もあり貴重な経験をすることもできました。
仕事はもちろんですが、プライベートも充実できることが航空局の大きな魅力だと思います。

受験者へのメッセージ

受験生の皆様の中には、未だ明確に目標が見つかっていない方も多くいらっしゃると思います。
飛行機好きの方、航空業界に興味がある方は元より今はそうではない方にとっても航空局は、様々な立場や角度から業務を経験できるため、実際に勤務して仕事を好きになる。やりがいを感じる。日々の積み重ねで少しずつ成長を実感できる職場だと思います。
人口減少社会を迎えた日本で、これからも豊かな生活を実現していくためには、航空輸送の発展が必要不可欠です。その未来を見据え、空の安心安全を確保するため、全国の空港を旅して回る流離の国家公務員として一緒に航空業界を盛り上げていきましょう。

PROFILE

平成20年1月　採用
平成23年4月　航空保安大学校　岩沼研修センター　総務課
平成25年4月　東京航空局　総務部　人事課
平成28年4月　航空局　総務課　職員管理室
平成30年8月　那覇空港事務所　総務部　総務課　主査
令和2年7月　現職

SYMPOSIUM

若手職員による　オンライン座談会

採用されてからも心配！という皆さんへ。
航空局人生はこんな仕事でスタートを切ります！

左から

大阪航空局 空港部 補償課	大阪航空局 保安部 運用課	東京航空局 総務部 管財調達課	東京航空局 総務部 契約課
中田 理沙	**前田 壮馬**	**大谷 凌**	**杉田 祐里香**
NAKATA RISA	MAEDA SOMA	OTANI RYO	SUGITA YURIKA

はじめに、皆さんの現在の業務内容を教えて下さい。

前田 私は2021年1月より、大阪航空局運用課で勤務しています。業務内容としては主に、無人航空機の利用申請に関する審査および許認可に係るものとなっています。皆さんもドローンについて聞いたことがあるかと思いますが、どこででも勝手に飛ばして良いものではなく、場所や条件によっては許可を受ける必要があり、そういった申請の審査を行っています。
運用課には20名以上の職員が在籍していますが、その中で事務職は自分含め4名のみであり、残りの大半が運航情報官という専門職の方々が占める部署となっております。ですので、専門的な知識が必要になることもありますが、事務職ではなかなか経験できない業務なので、早く力になれるよう勉強しているところです。

中田 地方公共団体や民間の業者に対して、空港周辺の土地を使用することを許可する業務をしています。使っていない土地を貸すことで有効活用を図り、賃料が国の収入として入ってくるので、国のお金を確保する点で重要な仕事だと思います。また、公園のための土地を貸すなど、空港周辺地域の活性化にも繋がると考えています。

杉田 契約課では、業務で使用する物の購入から東京航空局管内の空港で行われる工事など、ありとあらゆる契約の手続を行っています。契約手続といっても、入札に参加してもらう事業者を募集する文書の作成や契約相手を決定する手続、契約書の作成、さらに契約を結んだ後に内容を変更する場合もあるので、その変更手続など多岐にわたっています。中でも、私は工事に関する手続を担当しているのですが、どの空港でどういった事業が行われているのかを知ることができるのは大変面白いですし、間接的にですが、航空機の安全を守ることに携われていることにやりがいを感じています。

皆さんが就職先を航空局に決めた理由を教えてください。

前田 正直なところ、公務員試験を受けるまでは「航空局」という組織のことを一切知りませんでしたが、合同説明会であらゆる省庁のお話を聞いた中で航空局の存在を知り、興味を持ちました。そして個別説明会を通じて職場の雰囲気の良さも感じられたため、航空局を選びました。加えて、航空局の場合は全国に職場があり様々な場所で勤務できることや、空港というどこか特別感のある場所で働くことができる点も、航空局を選んだ理由です。

大谷 私は管財調達課器材係で、物品の管理を担当しています。主な業務は各課・各空港と調整して効率的な物品の運用をするために、物品の購入（取得）、管理換（移動）、不用決定承認（廃棄）を行うことです。
管財調達課では隣の物品係と分担して物品の管理を行っていますが、物品係では車両や事務用品、書籍等の一般的な物品を、器材係では航空機が安全に飛ぶためには欠かせない無線機器や航空灯火等の特殊な物品を対象として扱っています。間接的ではありますが、皆さんがよく目にする空港の夜景は器材係がつくっています。

中田 大学で開催されていた合同説明会で航空局の存在を知り、なんとなく航空に携わるってかっこいいなあと思い、説明会に参加するようになりました。
参加する中で、一番の決め手となったのは、全国転勤があると聞いたからです。行政の中心である霞ヶ関からのんびりとした離島の空港事務所まで、様々な場所で働けることに魅力を感じました。転勤先の周辺を観光したり全国各地に知人ができたりするのが今から楽しみです。

大谷 私も説明会に参加するまで航空局の存在を知らず、航空業界で働きたいと考えたこともありませんでした。しかし、合同説明会をきっかけに興味を持ち、その後の職場見学で羽田の執務室からの空港を見渡せる景色を見たことと、座談会でお話しした先輩職員の方々と一緒に働きたいと感じたことから航空局を第一志望に決めました。就活していたときには航空に全く関心の無かった私ですが、今では航空行政に対する熱い気持ちを持って働いています！

杉田 小学生の頃、地元空港の開港イベントを訪れたことをきっかけに、漠然と空港や航空業界に関わる仕事がしたいと考えていました。官庁訪問をするまで航空局がどのような仕事をしているかよく知りませんでしたが、業務の幅が広く、様々なことに挑戦できる機会が多いところにとても魅力を感じ、航空局に決めました。

実際に働き始めて苦労した、またはしていることをお聞かせください。

前田 2019年6月、皆さんも覚えていらっしゃるかもしれませんが、大阪でG20が開かれました。当時私は関西空港事務所で勤務しておりましたが、各国首脳機が関西空港を利用するということで、滞りなく離発着が行われるように、空港会社や他省庁と連携して対応することが求められました。私は採用まもない頃でしたので、あくまでサポート役という立場ではありましたが、入省後最もスケールの大きな業務であり、失敗は許されないという状況で、どうすれば問題なく進められるか頭を悩ませていたことをよく覚えております。それでも、当日特に大きなトラブルが起きることなく業務を終えられ、ホッとしたと同時にやりがいも感じられました。

中田 公務員のどの業務でも当てはまることだとは思いますが、大半の手続きを法令や通達に基づいて進めていかなければならないことです。私の担当する業務で言うと、申請者が希望する土地の使い方が通達に反していないか、無償で貸すことは法律に反していないかなど、読み慣れない法律の条文を見落としのないように読み解くことが難しいと感じています。ですが、徐々に慣れてきて、法律などを根拠に適切な手続きを自ら提案できたときにはやりがいを感じます。

大谷 東京空港事務所（羽田）に勤務していた時に空港内の道路を覚えたことです。空港内の道路は、一般の車も通る構内道路と許可された車両のみが走行できる制限区域内の道路があります。
構内道路は一方通行が多く複雑で、制限区域内の道路は独自の交通ルールがあるうえに敷地も広大なので覚えるのに非常に苦労しました。
ただ、上司や先輩が教本による学習や運転の練習する時間を確保してくださったおかげで、羽田を自由にドライブできるようになり、地域住民の皆さんに羽田空港について理解を深めていただく羽田見学会のバスの先導も行いました。

杉田 契約終了時期は契約を締結する前から決まっているので、手続を迅速に行う必要があります。契約開始が遅れてしまうと事業者が工事や作業を行うことのできる期間が短くなってしまうからです。常に複数の案件を担当しているのですが、業務を効率よく進めることはもちろん、進捗状況の把握やスケジュール管理にはとても苦労しています。また、契約締結までの過程では、公平な入札を行うために他課の職員や事業者に伝えてはいけない情報がたくさんあるので、誤って伝えてしまうことのないよう言動にも注意を払っています。

職場の雰囲気はどうでしょうか？

前田 皆さん分け隔てなく優しく接してくださり、良い雰囲気の中で業務ができていると感じています。また、異動してきたばかりということもあって初歩的な質問ばかりしてしまっている状況ですが、上司や同僚の方も皆さんとても親切に詳しく教えてくださり、質問しやすいという点からも非常に働きやすい職場だと感じています。

中田 大変居心地のいい職場だと感じています。上司は分からないことがあればいつでも相談できるような雰囲気を作ってくれているので、困ったことがあっても一人で抱え込むことはありません。働き始めたばかりの係員の意見も尊重してくれます。また、気さくで面白い人が多くて、業務で直接関わらない方もたくさん話しかけてくれます。

大谷 最高です。朝眠い時も行きたくないと思ったことはありません。
仕事で困っている時は上司から声をかけてくれることもありますし、同じ職場の上司や同僚に加えて全国に相談できる仲間がいます。転勤が多い職場ならではの魅力かもしれません。また、上下の隔たりもあまりなく、隣の課長と休日に２人で遊びに行くこともあります。

杉田 私は一度転勤を経験していて、去年の４月から今の業務を担当しているのですが、前の官署では全く違う業務を担当していました。そのため、異動してきた時は担当業務に関する知識がほとんどなかったのですが、上司や先輩に優しい方が多く、丁寧に教えてもらえたのでなんとか業務をこなせるようになりました。まだまだ分からないことも多いですが、とても相談しやすい雰囲気だと思います。また、事務職種以外にも様々な職種の方がいらっしゃるので、いろんな方との関わることができ、刺激をもらうこともたくさんあります。

入省前と入省後で航空局に対するイメージはどのように変わりましたか？

前田 入省前は、ひたすらデスクワークを行っていくというイメージが強かったですが、実際働き始めると、例えば現在の運用課では、淡々とデスクワークを行うというよりも、助け合いながらチームで業務をこなしていくという印象が強く、良い意味でイメージと違っていました。また空港事務所では、航空管制官など他職種の方と協力して行う業務や空港内のイベントにも関わることがあり、業務の幅の広さという点においても、入省前のイメージとは違っていました。

中田 入省前は、入って数年間は事務的な作業しかさせてもらえないのかと思っておりましたが、そんなことはなく、入って間もないうちに自分で調べたり業務スケジュールを管理したりするような仕事を任せてもらえました。とはいっても、いきなり難しいことを任せられるのではなく、段階的に業務の幅を広げてもらえるので、程よいやりがいと責任感を持って仕事に取り組めると思います。

大谷 想像していたよりも重要な仕事が多いと感じています。現在の器材係では高級外車が何台も買えるような高額な物品の購入等を、羽田総務課勤務時には操縦練習許可といった人命に関わる重要な仕事も担当していました。また、即位の礼対応では、目の前で各国のVIPを見ることができ様々な文化と触れ合える貴重な経験をすることができました。

杉田 入省前は一人で淡々とパソコンに向かって仕事をこなすイメージでしたが、実際には相談や調整をしながら進める案件も多く、たくさんの人と協力しながら業務を行っているのだと日々感じています。また、転勤と聞くとマイナスなイメージもありましたが、その土地ならではの生活を楽しんでいる方が多いと感じています。

受験生の皆さんへメッセージをお願いします。

前田 コロナによってこれまで経験したことのないような情勢となっている中で、公務員試験含め就職活動を行っていくのは難しいことと思います。しかし、様々な職種の中からここで働きたいと思えるような職場を選んだ結果、それが航空局だったならば、大変うれしく思います。まだまだ先は長いかと思いますが、うまくリフレッシュしながら試験を乗り越えてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

中田 試験や面接はもちろん、入省後のことを考えても不安な気持ちになるかと思います。私もそうでしたが、その当時想像していた以上に今は楽しいです。内定が出るまで気は休まらないと思いますが、今振り返ると、いろいろな官庁の仕事の話を聞ける機会なんてあまりなく、貴重な時間なので、できるだけ楽しんで乗り越えていってもらえたらと思います。

大谷 パンフレット等を読み込んで業務内容や勤務地等で就職先を考える人が多いと思いますが、私は実際に職場に足を運んでみて雰囲気や直感で選ぶことも良いと思います。是非実際に働いているところを見にきてみてください。皆さまと一緒に働けることを楽しみにしています！

杉田 試験や官庁訪問など、採用までに多くの壁があって、迷うことや分からなくなることがたくさんあると思います。私も試験勉強に心が折れそうになったり、説明会に参加して余計に迷うこともありましたが、今となってはそれも良い経験だったと感じています。辛いことも多いかもしれませんが、自分のやりたいことをじっくり考え、納得のいく答えを出してください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！

WORK LIFE BALANCE

育児参加・育休取得職員紹介

育児参加がしやすい職場

那覇空港事務所 総務部
総務課

仁田原 諒佑
NITABARU RYOSUKE

私は令和2年9月に2人の子どもが産まれ、11月末から12月末まで年次休暇と併せて約1ヶ月間育児休業を取得しました。
初めは日々の業務や来年度の契約準備があるため、取得するか否か悩んでいましたが、上司や課長より「育児休業はいつから取るの？業務は引き継ぐからしっかり休んで、育児やっておいで！」と言って頂きましたので、遠慮無く取得させて頂きました。
また、同じ航空局で働いている妻も産前・産後休暇と育児休業を併せて2年ほどお休みを頂きました。
妻も、私と同じように日々の業務を心配しており、初めは産前・産後休暇及び育児休業を併せて1年程のお休みに留めようと考えていたようですが、職場の上司から「もっと取らないの？仕事は大丈夫だから子どもたちと楽しい時間過ごしておいで！」と言って頂けたため、2年間休業できるようになりました。
職場の皆様が理解してくれるため、育児休業等取得しやすい職場だなと改めて感じました。
航空局では子育てがしやすいよう、育児休業や出産休暇・育児参加等の特別休暇制度、通勤緩和制度、育児短時間制度等のいろんな制度が活用できるため、子育てと仕事を両立することができます。
また、航空局は全国転勤がある官署のため、将来、今まで住んだことの無い地域で子育てをしなければいけないことに不安を感じる方もいらっしゃるかと思います。航空局ではそのような不安を解消するため、家族事情を鑑みた配慮や転勤先・部署の希望を確認する希望調査を年一回実施していますので、ご安心して頂ければと思います。
最後になりますが、少しでも「航空局に魅力を感じた！」・「航空局なら子育てと仕事を両立することができそう！」と感じましたら、就職先として選んで頂けると幸いです。
これから採用される皆様と一緒に、航空の発展と安心・安全の確保に向けて共に歩めること心待ちにしております。

相談しやすく仕事と家庭が両立できる職場

東京航空局 総務部
管財調達課

井上 絢子
INOUE AYAKO

平成２５年７月と平成２８年１月に息子を出産し、２人分の産前・産後休暇及び育児休業で続けて５年ほどお休みをいただきました。一人目妊娠時には、子どもが１歳になった４月に復帰しようと考えていましたが、同じ組織で働く夫の転勤について東京から大分、福岡と住居を変わっていった関係もあり、育児休業の延長をさせていただきました。その間に２人目を妊娠し、主人が東京へ転勤となった1年後の平成３０年４月に私も東京で職場復帰しました。
妊娠する前から、上司と子どもの話が出来るほど何でも話しやすい雰囲気の職場で、妊娠中のことや出産後の事について気さくに相談しやすい職場でした。妊娠中も体調面に配慮いただきながら、仕事では助けていただき、つわりがつらい時期も乗り越えることができました。また、お休みに入る前も仕事の引継をすんなり引き受けていただけて、精神的にも安心してお休みに入れたことを覚えています。
職場復帰してからは、お休み入る前との違いに戸惑うこと事も多かったですが、周りの方が一つ一つ優しく丁寧に教えていただき、働くことの楽しさを感じながら毎日過ごしています。現在は、フレックス制度と休憩時間の短縮を利用し、週1日を早めに帰れる勤務時間の設定にさせていただき、子どもの用事にも対応できる働き方が出来ています。また、年次休暇も取得しやすい環境で、平日にある保育参観や学校行事も気兼ねなく参加することができ、家庭と両立しながら仕事するにはとても働きやすい職場だと思います。
育児休業やフレックス制度など育児をしながら働きやすい制度があるだけでなく、実際利用しようする場合に、状況を理解してくださる方が多く、快く利用できる雰囲気が航空局にはあると思います。ここ一年は、テレワークなど勤務時間だけでなく、勤務場所も変化してきたため、今後ますます家庭と両立しやすくなると感じています。

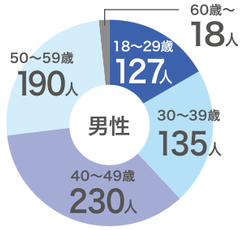
数字で見る航空局

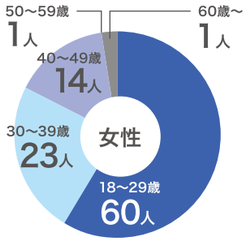
NUMBER of EMPLOYEES

事務職の職員数
799名
全体：6,507名
（R3.2.1現在、他組織への出向職員除く）

事務職の平均年齢
40.6歳
（R3.3.31現在）

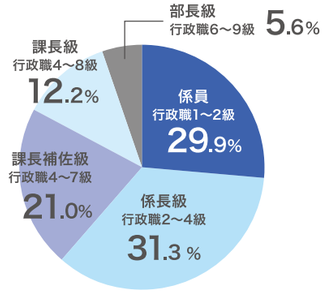
事務職の
年齢別職員構成比





POST

役職別職員割合

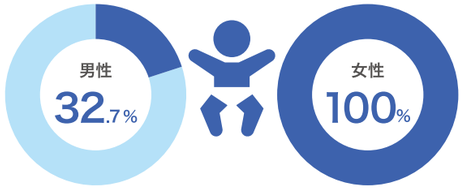


係長級以上の女性割合
22／547名

年次休暇取得日数（日／年平均）

15.61日
20日

育児休業取得率（航空局全体）

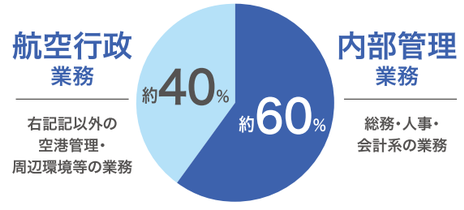


男性の育児参加等の休暇取得率

配偶者出産休暇・育児参加休暇
99.38%

HOLIDAY

事務職の航空行政・内部管理業務構成比率



ORGANIZATION

採用実績

	東京 航空局管内	大阪 航空局管内	合計
令和２年 試験	15(6)	13(5)	28(11)
平成31年 試験	17(6)	16(7)	33(13)
平成30年 試験	18(6)	18(7)	36(13)

※（）は女性を内数で示す

RECRUITMENT RECORD

FAQ

よくある質問

Frequently Asked Questions

Q1 求める人材を教えて下さい

日々発展する航空を取り巻く環境の変化に迅速に対応できる「応用力」、航空局ならではの多様な職種の仲間と協調できる「コミュニケーション能力」、どのような仕事にもポジティブに取組む「前向き力」を持っている人を求めています。

Q2 転勤について教えて下さい

各地の空港事務所や地方航空局、本省航空局などが勤務地になりますので、転勤先によっては転居を伴う場合があります。なお、定期的に勤務地及び職務に関する希望を提出することができます。

航空局で働く職員の中には、採用時は転勤に対する不安や抵抗感を持つ人もいますが、いざ転勤を経験すると、「様々な土地を旅行することが出来た」「ご当地グルメを楽しめた」「交友関係が広がった」など、肯定的な感想が多く聞かれます。また、各地の勤務先に宿舎がありますので、どの地域に勤務することになっても入居が可能です。

Q3 空港事務所はどこにありますか

空港に行くとターミナルビルの近くに管制塔と呼ばれる細長いタワーがあります。大体の空港事務所は、タワーに隣接した庁舎の中にあり、そこで航空局の職員が勤務しています。庁舎からは、滑走路や駐機場の航空機が間近に見え、街中とは異なり非日常的な空間で働くことができます。

Q4 航空局の魅力を教えて下さい

空港事務所では、空港という非日常的な空間で航空機の離着陸を横目で見ながらの勤務を経験し、地方航空局や本省航空局では航空行政に関する企画・立案業務を経験し、日々発展していく「航空」の世界のスケールの大きさを肌で感じながら成長していくことが出来ます。また、多様な職種と全国の様々な地域の仲間との出会いが多いため、交友関係の幅も広がります。

Q5 英語や特別な知識・資格は必要ですか

航空局の行政職として勤務するうえで、英語力や特別な知識・資格は必須ではありません。ただし、英語力については、本省航空局の一部の部署（国際航空関係を担当）では、相応の英語力が必要になりますのでポストによっては、語学スキルを活かした仕事に携わることも出来ます。

Q6 勤務時間はどうなっていますか

1日の勤務時間は7時間45分です。

空港事務所は、8時30分～17時15分（昼休1時間）地方航空局は、上記の他、9時00分～17時45分（昼休1時間）の勤務もあります。土日・祝日は休みで行政職は夜勤はありません。

技術系の職員は、勤務地（24時間運用空港等）によっては夜勤があります。

Q7 休暇制度について教えて下さい

有給休暇は、年間20日（4月採用の場合は15日）の年次休暇が付与されます。

特別休暇は、結婚・出産・育児などのライフイベントに応じて取得可能な休暇や、7月～9月に3日間取得可能な夏季休暇などがあります。その他にも、状況に応じて育児休業や病気休暇、介護休暇の取得が可能です。

Q8 ワークライフバランスについて

航空局では、職員が生活を楽しみ、仕事と家庭を両立しやすくなるように「ワークライフバランスの推進」に積極的に取り組んでいます。

【主な取り組み】

- 「ゆう活」の実施
- 「ポジティブ・オフ（月1回の有給休暇取得）」の取得促進
- 1週間以上の長期休暇の取得促進（夏季）
- 職員の出産・育児に係る育児休業及び特別休暇の取得促進

Q9 新型コロナウイルスの感染拡大への取組は？

- 職員の出勤回避（テレワークや在宅勤務）の取組をし、それ以外でも時差出勤に努めています。
- リモート会議の導入で出張を極力避け、電話・メールなどでの説明を心掛けて対面での説明を回避しています。
- 不要不急の外出自粛が求められていることに鑑み、効率的な業務遂行に努め、職員が定時退庁できるよう取組んでいます。

Q10 女性職員はどのくらいいますか

約800名のうち、約100名（約12%）の女性職員が活躍しています。（令和3年2月現在）

- 40歳未満の割合
  約345名のうち、約83名（約24%）
- 30歳未満の割合
  約187名のうち、約60名（約32%）

となっており、新規採用職員数と比例して増加傾向にあり、航空局でも女性職員の活躍に期待する声が高まっています。

Q11 女性職員の結婚・出産後のキャリアについて

勤務地については、結婚・出産・育児などの事情を配慮しています。出産後は育児休業が最大3年間取得可能となっており、育児に関連した特別休暇も充実しているため、様々なケースに応じて休暇を取得することが出来るなど、サポート体制が整っています。

航空局では、ほとんどの女性職員が結婚・出産後も退職することなく仕事と家庭を両立し安心して働き続けています。

Q12 空の日と航空局のゆるキャラについて

明治43年（1910年）東京代々木練兵場において、徳川・日野両大尉が初飛行に成功したことが日本の航空活動の始まりです。

それから30周年にあたる昭和15年（1940年）に9月20日を「空の日」とすることが定められました。

空の日を中心として、8月～10月頃に全国各地の空港において、航空局を中心とした空港関係者主催の空港見学会や航空教室などの「空の日イベント」を実施しています。

イベントに行くと航空局のゆるキャラ「くにまる(920)」に出会えるかもしれません♪